（様式４）

自　己　評　価　票

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　岐阜県教育委員会

１　研修対象教員

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 免　　　許 | 部・学級(HR)担任 | 担当教科 | 主たる校務分掌 |
|  |  | （　　） |  |  |

＊1 部・学級(HR)担任は学年のみ記入、副担任・学年係等は（　）に記入。 ＊2 免許は、免許は、小・中・特の校種のみ記入。

＊3 校務分掌は主たるもののみ記入。 　　　　 ＊4 担当教科は、主に担当しているものを記入。

２　評価　　（評価の基準　　４：達している　　３：おおむね達している　　２：やや努力を要する　　１：努力を要する）

【資質充実期】　活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | | 評　価　の　観　点 | 自己評価 | |
| 研修前 | 研修後 |
| 学習指導 | 授業構想 | ①中長期的な視点で、指導と評価の計画を作成することができるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 授業実践 | ②各教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業の実践について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 評価改善 | ③観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 生徒指導 | 生徒理解 | ④生徒の実態の多面的な把握と分析の方法について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 生徒  指導 | ⑤生徒の自己指導能力の育成を促す指導や今日的な課題への対応について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| ｷｬﾘｱ  教育 | ⑥生徒自身が自らの生き方を多様な価値観を基に考える学習活動となるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 経営・分掌 | ＨＲ・ 学校等 経営 | ⑦中長期的な視点で校務の改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 連携  協働 | ⑧チームとしての指導と対応の視点や対策について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 危機  管理 | ⑨事故等の未然防止と選択すべき行動について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応 | | ⑩全体的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| ICTや情報・教育データの利活用 | | ⑪自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したり することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 総合計（ ①～⑪ ） | | |  |  |

３　主たる研修課題　　※自己評価（研修前）に記入後、校長面談時等で説明

|  |
| --- |
|  |

４　研修の総括及び今後の自己研修に向けての展望　※自己評価（研修後）に記入後、校長面談時等で説明

|  |
| --- |
|  |

校長欄　※研修計画書と一緒に提出する際には記入せず、研修報告書と一緒に提出する際に記入する。

※提出について

・研修計画書と一緒に提出する際

「２　自己評価（研修前）」、「３　主たる研修課題」を記入し、提出する。その際、校長欄は記入しない。

・研修報告書と一緒に提出する際

「２　自己評価（研修後）」、「４　研修の総括　今後の自己研修に向けての展望及び期待」を追記し、提出する。

その際、校長欄には必要事項を記入する。

|  |
| --- |
| 令和　　　年　　　月　　　日　　学校名  校長名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（公印省略） |

（様式4）

**記入例**

自　己　評　価　票

**注意：令和４年度の様式と異なります**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　岐阜県教育委員会

１　研修対象教員

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 免　　　許 | 部・学級(HR)担任 | 担当教科 | 主たる校務分掌 |
| ○○　○○ | 高専修（理科）  高一種（理科） | ２学年（正担任） | 物理 | 学年主任、教務部 |

２　評価　　（評価の基準　　４：達している　　３：おおむね達している　　２：やや努力を要する　　１：努力を要する）

【資質充実期】　活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | | 評　価　の　観　点 | 自己評価 | |
| 研修前 | 研修後 |
| 学習指導 | 授業構想 | ①中長期的な視点で、指導と評価の計画を作成することができるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-③-２-１ | ４-③-２-１ |
| 授業実践 | ②各教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業の実践について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-②-１ | ４-③-２-１ |
| 評価改善 | ③観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-②-１ | ４-③-２-１ |
| 生徒指導 | 生徒理解 | ④生徒の実態の多面的な把握と分析の方法について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ④-３-２-１ | ④-３-２-１ |
| 生徒  指導 | ⑤生徒の自己指導能力の育成を促す指導や今日的な課題への対応について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-③-２-１ | ４-③-２-１ |
| ｷｬﾘｱ  教育 | ⑥生徒自身が自らの生き方を多様な価値観を基に考える学習活動となるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-３-②-１ | ４-③-２-１ |
| 経営・分掌 | ＨＲ・ 学校等 経営 | ⑦中長期的な視点で校務の改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-③-２-１ | ４-③-２-１ |
| 連携  協働 | ⑧チームとしての指導と対応の視点や対策について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-③-２-１ | ４-③-２-１ |
| 危機  管理 | ⑨事故等の未然防止と選択すべき行動について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | ４-③-２-１ | ４-③-２-１ |
| 特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応 | | ⑩全体的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。 | ４-３-②-１ | ４-３-②-１ |
| ICTや情報・教育データの利活用 | | ⑪自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したり することができる。 | ４-３-②-１ | ４-③-２-１ |
| 総合計（ ①～⑪ ） | | | 29 | 33 |

３　主たる研修課題

|  |
| --- |
| 主体的・対話的で深い学びの充実を図る授業の在り方  ～どの教師も理科の見方・考え方を育むことができる授業～ |

４　研修の総括　今後の自己研修に向けての展望及び期待

|  |
| --- |
| 研修を通して、仲間と考え合う授業を展開することができるようになった。また、積極的に授業を公開したり、他の職員と相談したりして、授業研究のリーダーシップを発揮することができた。今後、研修の成果と課題を生徒の姿で継続的に見届け、さらに指導の改善や学習内容の定着を図りたい。 |

校長欄

|  |
| --- |
| 令和　〇年　〇月　〇日　　学校名　○○高等学校  校長名　○○　○○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（公印省略） |

１月初旬までに記入。「２ 評価 自己評価（研修後）」「４ 研修の総括及び今後の自己研修に向けての展望」の２か所に記入する。全ての書類を整え、校長への報告をする。(詳細は実施要項４（２）参照)

**※記入に際し、余白が足りないときには、備考の削除を行うことで対応してください。**

**（この記入例は、削除できるものをすべて削除した形で示しています。）**

**記入例は、提出の際に削除すること**